



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 5821 URL <https://www.hewtech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 篠 祐一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭

TEL 03-3457-1400

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,694	15.3	2,381	38.0	2,645	54.4	2,201	79.5
2022年3月期第3四半期	21,424	28.6	1,726	39.1	1,713	40.2	1,226	155.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,964百万円 (46.7%) 2022年3月期第3四半期 2,021百万円 (305.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	156.70	—
2022年3月期第3四半期	87.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	44,311	32,996	74.5	2,348.91
2022年3月期	41,574	30,418	73.2	2,165.40

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 32,995百万円 2022年3月期 30,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
2023年3月期	—	14.00	—		
2023年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	15.1	2,500	27.8	2,900	42.9	2,300	53.0	163.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有

新規 一 社 (社名) 、 除外 2 社 (社名) 福泰克(深セン)電子有限公司、福泰克-樂庭有限公司

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	17,627,800 株	2022年3月期	17,627,800 株
2023年3月期3Q	3,580,463 株	2022年3月期	3,580,415 株
2023年3月期3Q	14,047,377 株	2022年3月期3Q	14,047,418 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,336	19.0	916	54.1	1,116	56.8	1,218	125.0
2022年3月期第3四半期	7,848	15.3	594	94.8	712	95.4	541	84.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	86.78	—
2022年3月期第3四半期	38.57	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	22,876	15,640	68.4	1,113.40
2022年3月期	22,499	14,840	66.0	1,056.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 15,640百万円 2022年3月期 14,840百万円

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から経済社会活動の正常化が進みましたが、急激な為替変動や物価上昇の影響もあり、持ち直しの動きに一部弱さがみられました。

海外経済においても緩やかな持ち直しが続いておりますが、インフレの進行による各国の金融引締め、中国における感染の再拡大等により、一段と先行きが不透明となっております。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、産業機器市場は底堅く推移しましたが、車載市場において半導体や部材の調達難による生産停滞からの回復傾向に遅れがみられ、また半導体関連の設備投資は一部に設備投資を見直す動きがあり、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の下、売上高は246億94百万円（前年同期比15.3%増）となりました。売上高が増加したことにより、営業利益は23億81百万円（同38.0%増）となりました。円安による為替差益により、経常利益は26億45百万円（同54.4%増）となりました。固定資産売却益5億64百万円（特別利益）、為替換算調整勘定取崩額1億44百万円（特別損失）により、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億1百万円（同79.5%増）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

半導体検査装置ケーブルは売上が堅調に推移し、産業機器用ケーブルはじめ、その他のケーブル全般の売上も伸長しました。車載用ケーブルは各自動車メーカーの生産調整の影響を受けましたが、為替換算の影響もあり売上増となりしました。エネルギー産業関連ケーブルは第1四半期連結累計期間に生じた北米市場における部材調達難の影響がありましたが、売上は堅調に推移しました。以上により、売上高は216億2百万円（前年同期比14.0%増）となりました。売上の増加等により、セグメント利益は24億40百万円（同23.6%増）となりました。

（電子・医療部品）

ネットワーク機器は専門用途品の売上が伸長しました。医療用特殊チューブについても新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことにより売上が増加となりました。以上により、売上高は30億71百万円（前年同期比27.0%増）となりました。半導体部品の調達難はありましたが、売上が増加したことによりセグメント利益は5億93百万円（同72.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ27億37百万円増加し、443億11百万円となりました。主な増加は、受取手形、売掛金及び契約資産17億57百万円、原材料及び貯蔵品17億22百万円、現金及び預金7億33百万円であり、主な減少は、土地15億17百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億58百万円増加し、113億14百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金4億88百万円、流動負債その他の未払費用2億75百万円、未払法人税等1億98百万円であり、主な減少は、長期借入金8億40百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ25億78百万円増加し、329億96百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益22億1百万円、為替換算調整勘定8億19百万円であり、主な減少は、利益剰余金の配当3億86百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月2日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,581	9,315
受取手形、売掛金及び契約資産	7,890	9,648
有価証券	201	100
商品及び製品	2,264	2,688
仕掛品	862	899
原材料及び貯蔵品	3,966	5,688
その他	1,211	645
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	24,973	28,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,774	4,828
機械装置及び運搬具（純額）	4,349	5,825
土地	2,402	885
その他（純額）	1,975	883
有形固定資産合計	13,502	12,422
無形固定資産	943	946
投資その他の資産	2,154	1,962
固定資産合計	16,600	15,330
資産合計	41,574	44,311

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,965	3,453
短期借入金	2,163	2,262
未払法人税等	256	455
賞与引当金	61	111
災害損失引当金	8	—
その他	1,264	1,421
流動負債合計	6,719	7,703
固定負債		
長期借入金	2,269	1,428
退職給付に係る負債	1,997	2,031
役員退職慰労引当金	49	46
その他	120	104
固定負債合計	4,436	3,610
負債合計	11,155	11,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	26,053	27,868
自己株式	△2,340	△2,340
株主資本合計	26,727	28,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	613	564
為替換算調整勘定	3,042	3,862
退職給付に係る調整累計額	35	26
その他の包括利益累計額合計	3,690	4,453
非支配株主持分	—	0
純資産合計	30,418	32,996
負債純資産合計	41,574	44,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,424	24,694
売上原価	16,677	18,831
売上総利益	4,747	5,862
販売費及び一般管理費	3,020	3,480
営業利益	1,726	2,381
営業外収益		
受取利息	19	36
受取配当金	29	34
助成金収入	5	12
為替差益	—	161
その他	35	58
営業外収益合計	89	303
営業外費用		
支払利息	12	22
為替差損	63	—
機械装置除却損	—	12
その他	25	5
営業外費用合計	101	40
経常利益	1,713	2,645
特別利益		
固定資産売却益	—	564
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	567
特別損失		
為替換算調整勘定取崩額	—	144
貸倒引当金繰入額	—	3
特別損失合計	—	148
税金等調整前四半期純利益	1,713	3,064
法人税、住民税及び事業税	474	816
法人税等調整額	12	45
法人税等合計	487	862
四半期純利益	1,226	2,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,226	2,201

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	1,226	2,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△48
為替換算調整勘定	676	820
退職給付に係る調整額	△5	△8
その他の包括利益合計	794	763
四半期包括利益	2,021	2,964
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,018	2,964
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

福泰克（深圳）電子有限公司（住所：中華人民共和国広東省）は清算に伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

当社の連結子会社でありました福泰克-楽庭有限公司（住所：中華人民共和国香港）は、当社の連結子会社である福泰克香港有限公司（住所：中華人民共和国香港）と合併し消滅したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,954	2,418	21,373	50	21,424	—	21,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	19	38	—	38	△38	—
計	18,974	2,438	21,412	50	21,463	△38	21,424
セグメント利益	1,973	344	2,318	18	2,336	△610	1,726

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6億10百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5億76百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,602	3,071	24,673	20	24,694	—	24,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	15	75	—	75	△75	—
計	21,662	3,086	24,749	20	24,770	△75	24,694
セグメント利益	2,440	593	3,033	7	3,040	△659	2,381

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6億59百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5億95百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。